

新型コロナウイルス肺炎の感染拡大防止に関する緊急申し入れ

流山市長 井崎 義治 様

2020年 2月14日

日本共産党流山市議団・日本共産党流山市委員会

新型コロナウイルス（COVID-19）による肺炎は、世界的規模で感染者数が6万人超過、死者は1300人超過しました（2月14日現在）。それにとまって、国内報道も連日、加熱しています。

千葉県では今年1月23日、健康危機管理対策本部を立ち上げ、また流山市も、1月28日の安心メールを発信して以降、6回（2月10日現在）のメール発信をしてきました。

しかし、市民的な関心や不安が日々、大きく広がり、便乗した詐欺メール等も発生しています。そこで、下記事項について、要請します。

記

- 1、事態の進展に合わせ対策の見直し・強化を図るよう、政府・県に要請するとともに、保健所を含め専門関係機関との情報共有をよりいっそう強化すること。
- 2、近隣他市及び市内一般医療機関との連携・強化をよりいっそう図るとともに、一般医療機関から緊急要請に対しては、各関係機関と一体で協力体制を図ること。また、市民からの問い合わせに丁寧に対応できる窓口体制を強化すること。
- 3、中国および武漢市を含む湖北省限定から、^{せっこう}浙江省も加えられた経過や、「症状がなくても陽性反応を示すケース」、「症状発症後1回目は陰性であっても、2回目に陽性へ変化しているケース」など国内感染が急激に進展しているとの報道があること、アメリカを中心にインフルエンザの大流行が予測されていることなどから、「流山市新型インフルエンザ等対策行動計画」を再確認し、必要に応じ本格的な取り組みがいつでもスタートできる体制構築を図ること。
- 4、現時点で、厚生労働省が推奨している季節性インフルエンザと同様に、せきエチケット、手洗い・うがいなど基本的な感染症対策の必要性を、安心メールまかせにせず、市民へいっそう徹底すること。また、学校など全公共施設にアルコール液の設置・使用の習慣化を推進するとともに、アウトブレイク（大流行）防止に向け、学校の卒業式及びその練習等、多数者が室内で一堂に集

まる場合については、マスク着用、せきエチケット、入口等へのアルコール液設置など感染症予防への協力を可能な限り呼びかけ、必要な手立てをとること。

5、安心メールの加入が比較的少なく、また感染すると重篤化すると指摘されている高齢者については、緊急の自治会回覧、広報、高齢者福祉センター森の倶楽部や公民館、図書館、高齢者ふれあいの家などの入口への案内、アルコール液設置など全庁的な情報発信を強化すること。

6、「マスクを無料送付、確認をお願いします」「（実在する）保健所からの通知」などの表記を使いサイバー犯罪（詐欺やコンピューター・ウイルス感染、不正アプリのダウンロードなど）が拡散されており、市民への注意喚起を図ること。

以上